

平成26年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月7日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3344 URL http://www.wonder.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日下 孝明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 塚田 英雄 (TEL) 029-853-1313  
 定時株主総会開催予定日 平成26年5月29日 配当支払開始予定日 平成26年5月14日  
 有価証券報告書提出予定日 平成26年5月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期の連結業績(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	87,981	26.2	884	27.6	1,071	26.7	1,130	62.6
25年2月期	69,732	6.2	693	△45.5	845	△38.7	695	—

(注) 包括利益 26年2月期 1,699百万円( 131.5%) 25年2月期 734百万円( —%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年2月期	210.26	—	9.9	2.7	1.0
25年2月期	131.30	—	6.6	2.6	1.0

(参考) 持分法投資損益 26年2月期 ー百万円 25年2月期 ー百万円

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	40,222	14,152	29.6	2,214.21
25年2月期	38,308	12,493	28.5	2,028.58

(参考) 自己資本 26年2月期 11,909百万円 25年2月期 10,912百万円

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年2月期	△251	314	△183	2,060
25年2月期	760	△898	1,355	2,181

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年2月期	—	0.00	—	2,500.00	2,500.00	135	19.0	2.5
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00	135	11.9	1.2
27年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00	—	—	—

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成25年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,500	0.0	220	41.0	300	31.2	100	△27.8	18.59
通 期	89,300	1.5	1,000	13.0	1,150	7.3	300	△73.5	55.77

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 2社（社名）株式会社ニューウェイブディストリビューション、除外 1社（社名）株式会社ケイ・コーポレーション

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、決算短信（添付資料）18ページ「3 連結財務諸表（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期	5,403,600株	25年2月期	5,403,600株
② 期末自己株式数	26年2月期	25,000株	25年2月期	24,400株
③ 期中平均株式数	26年2月期	5,378,785株	25年2月期	5,297,877株

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成26年2月期の個別業績（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期	56,192	△6.0	901	62.0	1,067	52.0	575	—
25年2月期	59,811	△3.5	556	△54.0	702	△46.9	△146	△58.3

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期	106.52	—
25年2月期	△27.65	—

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期	30,946	10,237	33.1	1,894.58
25年2月期	29,152	9,838	33.6	1,813.07

(参考) 自己資本 26年2月期 10,237百万円 25年2月期 9,797百万円

(注) 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変更等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	6
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	7
2. 経営方針 .....	8
(1) 会社の経営の基本方針 .....	8
(2) 目標とする経営指標 .....	8
(3) 中長期的な会社の経営戦略 .....	8
(4) 会社の対処すべき課題 .....	8
3. 連結財務諸表 .....	9
(1) 連結貸借対照表 .....	9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	11
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	14
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	16
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	18
(継続企業の前提に関する注記) .....	18
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) .....	18
(セグメント情報等) .....	18
(1株当たり情報) .....	22
(重要な後発事象) .....	23
4. 個別財務諸表 .....	24
(1) 貸借対照表 .....	24
(2) 損益計算書 .....	27
(3) 株主資本等変動計算書 .....	29

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

## ① 当連結会計年度の業績全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果等を背景とする円安株高が進行し、一部に景気回復の兆しが見られたものの、円安による原料価格の上昇や電気料金の値上げ、新興国経済の減速等の世界経済の下振れ懸念もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは連結子会社である株式会社新星堂との間で共同商品調達等による値入率の改善、物流やITシステムの連携、本社機能の集約化によるコスト削減といったシナジーを創出してまいりました。また、更なる事業拡大のため、群馬県及び宮城県を中心にTSUTAYA事業を展開している株式会社ケイ・コーポレーションを平成25年9月に連結子会社化いたしました。

営業面におきましては、収益改善策として、店舗施設の改装によるQSC向上、中古トレカ・ミュージック機器の全店導入、リユース商品のネットショップ出品等の新たな取り組みを実施いたしました。また、コスト削減策として、物流コストの改善、LED照明の導入、家賃減額等により固定費の抑制に努めました。

店舗展開におきましては、シニア層からキッズ層まで各世代のお客様がエンタテインメントを満喫できることをコンセプトに、WonderG00川越店の出店及びWonderG00宇都宮店の改装を実施いたしました。その他、TSUTAYA事業では12店舗の営業譲受、新星堂事業ではイベント連動型店舗である新星堂アスナル金山店の出店等により、当連結会計期間末の店舗数はWonderG00事業99店舗（内、F C 19店舗）、WonderREX事業17店舗、TSUTAYA事業82店舗、新星堂事業131店舗、合計329店舗となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は87,981百万円（前年同期比26.2%増）、販売費及び一般管理費は27,313百万円（前年同期比44.4%増）、営業利益884百万円（前年同期比27.6%増）、経常利益1,071百万円（前年同期比26.7%増）、当期純利益については、新星堂の自社物件売却の特別利益の発生等が加わり1,130百万円（前年同期比62.6%増）となりました。

## 当連結会計年度の新規出店等の状況

店舗名	会社名	設備内容	開店月	所在地	売場面積
WonderG00つくば桜店	当 社	新 規 出 店	平成25年3月	茨城県つくば市	809㎡
WonderG00川越店	当 社	新 規 出 店	平成25年5月	埼玉県川越市	3,484㎡
TSUTAYA盛岡南店	(株)サンレジャー	店 舗 譲 受	平成25年4月	岩手県盛岡市	553㎡
TSUTAYA下瀬谷店	(株)サンレジャー	店 舗 譲 受	平成25年4月	神奈川県横浜市	528㎡
TSUTAYA苫小牧バイパス店	(株)サンレジャー	店 舗 譲 受	平成25年9月	北海道苫小牧市	972㎡
新星堂アスナル金山店	(株) 新 星 堂	新 規 出 店	平成25年9月	愛知県名古屋	95㎡
新星堂テラスウォーク一宮店	(株) 新 星 堂	新 規 出 店	平成25年12月	愛知県一宮市	129㎡

## ② 当連結会計年度の報告別セグメントの概況

## ＜WonderG00事業＞

WonderG00事業におきましては、ソーシャルネットワークを活かした店舗イベントの告知やタイムセールを実施するとともに、中古トレカ・アミューズ機器の全店導入や文具雑貨の取り扱い開始により既存店舗の底上げを図ってまいりました。

さらに、新星堂事業との共同仕入やポイント付与率の見直し等により利益率を改善し、また、販売消耗品のコスト見直しやLED照明の導入等による店舗運営経費の削減を図ってまいりました。

## ＜WonderREX事業＞

WonderREX事業におきましては、販売チャネルを拡大するため、店頭商品をオンラインショップに出品し、店舗では販売が困難だった稀少品を全国規模でご提供することが可能となりました。また、お客様が寛げるコーナーとしてカフェ自販機やキッズスペースを設置し、よりご来店しやすい店舗環境を整備いたしました。さらに、買取センターやリペアセンターなど各拠点の機能を充実させ、補修効率の向上や季節商品のストックなど、需要に則した供給体制の構築に努めました。

## ＜TSUTAYA事業＞

TSUTAYA事業におきましては、TSUTAYAのF C企業様から12店舗の営業譲受と連結子会社化した株式会社ケイ・コーポレーションの17店舗を加え、事業の拡大に努めたものの、改装等による一時経費により販管費が増加いたしました。また、競合との価格競争を前提にした低価格戦略の見直しや、独自で展開している有料の年間会員サービス「ファースト会員」による安定的な収益確保を図ってまいりました。

## ＜新星堂事業＞

新星堂事業におきましては、音楽ソフト及び映像ソフトの新規発売タイトルの不足等により売上高が伸び悩んだものの、より実態を反映する在庫評価方法に変更した結果、売上総利益高は増加いたしました。また、業務の効率化や今後の新規アイテム導入などを推進するため、全店舗において当社グループ開発によるPOSシステムを導入いたしました。さらに、潜在需要の喚起や機会損失の減少を目的とした旧譜在庫の充実、店内視聴によるお客様への訴求などにより、店頭販売力の強化を図ってまいりました。

なお、セグメント別商品別販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

商品名		前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)		当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減比
ゲームソフト 及び関連商品	新品	12,190	17.5	11,189	12.7	△ 1,000	△ 8.2
	中古品	5,422	7.8	4,392	5.0	△ 1,030	△ 19.0
	卸売	2,821	4.0	2,224	2.5	△ 596	△ 21.2
	計	20,434	29.3	17,806	20.2	△ 2,627	△ 12.9
音楽ソフト	新品	3,615	5.2	2,871	3.3	△ 744	△ 20.6
	中古品	1,536	2.2	1,219	1.4	△ 317	△ 20.7
	卸売	751	1.1	609	0.7	△ 142	△ 19.0
	計	5,904	8.5	4,700	5.3	△ 1,204	△ 20.4
映像ソフト	新品	1,953	2.8	1,908	2.2	△ 44	△ 2.3
	中古品	1,380	2.0	1,257	1.4	△ 123	△ 8.9
	卸売	532	0.8	580	0.7	48	9.1
	計	3,866	5.5	3,746	4.3	△ 119	△ 3.1
書籍	新品	13,168	18.9	12,678	14.4	△ 490	△ 3.7
	中古品	596	0.9	452	0.5	△ 144	△ 24.2
	卸売	1,429	2.0	1,260	1.4	△ 168	△ 11.8
	計	15,194	21.8	14,391	16.4	△ 802	△ 5.3
化粧品	新品	2,063	3.0	1,930	2.2	△ 132	△ 6.4
	卸売	166	0.2	189	0.2	23	14.0
	計	2,229	3.2	2,119	2.4	△ 109	△ 4.9
携帯電話 (注) 3	新品	3,891	5.6	1,972	2.2	△ 1,919	△ 49.3
レンタル	レンタル	3,815	5.5	3,963	4.5	148	3.9
その他 (注) 4	その他	1,796	2.6	3,467	3.9	1,671	93.1
WonderG00事業	新品	36,883	52.9	32,551	37.0	△ 4,331	△ 11.7
	中古品	8,937	12.8	7,321	8.3	△ 1,615	△ 18.1
	レンタル	3,815	5.5	3,963	4.5	148	3.9
	その他	1,796	2.6	3,467	3.9	1,671	93.1
	卸売	5,700	8.2	4,864	5.5	△ 836	△ 14.7
計	57,132	81.9	52,168	59.3	△ 4,963	△ 8.7	
リユース商品		5,217	7.5	5,461	6.2	244	4.7
その他		248	0.4	240	0.3	△ 7	△ 2.9
WonderREX事業	計	5,465	7.8	5,702	6.5	237	4.3
TSUTAYA事業	計	6,869	9.9	12,703	14.4	5,834	84.9
新星堂事業	計	—	—	17,139	19.5	—	—
報告セグメント計		69,466	99.6	87,713	99.7	18,246	26.3
その他	計	265	0.4	267	0.3	2	0.8
合計		69,732	100.0	87,981	100.0	18,249	26.2

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 セグメント間取引については、相殺消去しております。

3 「WonderG00事業」の携帯電話の販売高は、取引先との契約形態の変更により手数料収入のみを計上しております。

4 「WonderG00事業」のその他にはトレーディングカード(中古品)の前連結会計年度101百万円、当連結会計年度618百万円が含まれております。

5 「TSUTAYA事業」には、平成24年6月に(株)サンレジャー及び平成25年9月に(株)ケイ・コーポレーションを連結子会社化したことによる売上高が含まれております。

6 前連結会計年度末において(株)新星堂を連結子会社とし、報告セグメント「新星堂事業」を新たに追加しております。

### ③ 次期の見通し

今後のわが国の経済情勢は、現政権の経済政策による景気回復の本格化が期待される一方、消費税増税による消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

今後、エンタテインメント小売業界を取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及で電子書籍や音楽配信、ゲームアプリなど娯楽の楽しみ方が変化し、インターネット通販も一般化するなど消費形態の多様化が進行するものと思われます。

当社グループにおきましては、「“楽しさ”を創造し、幸せを共に分かち合う」という経営理念のもと、店舗のサードプレイス化を通じて「リアル店舗でしか体験できないコト」をお客様にご提案してまいります。

WonderG00事業におきましては、今後の出店でも、シニア層からキッズ層まで各世代のお客様がエンタテインメントを満喫できる売場を展開してまいります。特に居心地の良さを追求した「Café with Books」等、リアルな五感に訴える新たな取り組みを図ってまいります。また、今後収益の低下が予想される既存店舗につきましては、経営効率の観点から、グループシナジーを活かした業態変更を実施する予定であります。

WonderREX事業におきましては、昨年から開始した店頭商品のオンラインショップへの出品について、専門部署を設置し、商品撮影や登録業務を一本化することにより、業務の効率化を図ってまいります。また、新たにフランチャイズチェーン・システムを構築し、FC加盟店舗を広く募集することで、新店投資資金の軽減による出店の加速や安定的なロイヤリティ収益を通じてWonderREX事業を拡大してまいります。

TSUTAYA事業におきましては、平成26年4月開店予定の「TSUTAYA八戸NT店」（青森県八戸市）において「出逢い、地域との共生」のコンセプトのもと、大型複合店舗として地域のお客様の生活を豊かにするきっかけづくりを進めてまいります。既存店においても小型店としての利便性を更に高めるべく文具等の新規商材の導入を拡大してまいります。また、連結子会社であるサンレジャー及びケイ・コーポレーションの合併を実施し、グループの再編を通じてシナジーの創出をしてまいります。

新星堂事業におきましては、イベント連動型店舗を始めとした新規店舗の出店を推進してまいります。既存店においてはWonderG00事業で取り扱っているエンタテインメント商材を随時導入するなど、幅広い展開による店舗価値の向上を目指してまいります。

通期連結業績予想につきましては、売上高89,300百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益1,000百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益1,150百万円（前年同期比7.3%増）、当期純利益300百万円（前年同期は固定資産売却益等の特別利益1,377百万円の発生により当期純利益1,130百万円）を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、22,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,631百万円増加いたしました。これは主に未収入金が663百万円減少したものの、商品が2,208百万円増加したことによるものです。

なお、商品の増加につきましては、主に新星堂事業の品揃え強化による増加であります。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、17,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ282百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が244百万円減少したものの、有形固定資産が437百万円増加、無形固定資産が89百万円増加したことによるものです。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、18,393百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,308百万円増加いたしました。これは主に買掛金が601百万円減少したものの、短期借入金が2,431百万円増加したことによるものです。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、7,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,052百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,288百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、14,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,658百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,130百万円と、剰余金の配当134百万円の支払いによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少し、2,060百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益が2,138百万円、減価償却費が1,323百万円でしたが、固定資産の売却益が1,263百万円、法人税の支払額が569百万円、たな卸し資産が1,655百万円増加したことにより251百万円の資金の減少（前年同期は760百万円の資金の増加）となりました。

なお、たな卸し資産の増加につきましては、主に新星堂事業における定番商品の品揃え強化策による増加であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得2,090百万円、営業譲受による支出が480百万円、敷金及び保証金の差入による支出により263百万円資金が減少したものの、有形固定資産の売却2,439百万円、敷金及び保証金の回収による収入581百万円等により314百万円の増加（前年同期は898百万円の資金の減少）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額により2,361百万円、長期借入による収入1,961百万円により資金が増加したものの、長期借入金の返済による支出により4,108百万円、リース債務の返済による支出で274百万円資金が減少したことにより183百万円の減少（前年同期は1,355百万円の資金の増加）となりました。



## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成22年2月期	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期
自己資本比率	37.9	38.6	37.9	28.5	29.6
時価ベースの自己資本比率	15.0	13.7	15.8	11.4	11.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.3	7.6	195.3	16.2	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	18.9	7.3	0.3	6.3	—

- (注) 1. 自己資本比率・・・・・・・・・・・・・・・・ 自己資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率・・・・・・・・ 株式時価総額／総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率・・ 有利子負債／営業キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ・・ 営業キャッシュ・フロー／利払い
2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
4. 平成26年2月期は営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載を省略しております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を重要課題の一つとして位置付け、事業の拡大による収益向上、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに、内部留保の充実などを勘案しつつ業績に応じた適正、かつ継続的な利益配分を行うことを基本としております。

内部留保金につきましては、成長性、収益性の高い事業への投資とともに、既存事業の効率化、活性化のための投資及び人材育成に活用してまいります。

上記方針のもと、当期の配当につきましては、1株当たり25円とさせていただきます。また、次期の配当につきましても、1株当たり25円を予定しております。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 経営方針

## (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「“楽しさ”を創造し、幸せを共に分かち合う」を経営理念として、

- ① あらゆる楽しさを多角的に社会に届ける会社です
- ② すべての関係者から期待され、その期待を上回る会社です
- ③ 時代や地域のニーズの変化を敏感にとらえ、応える会社です
- ④ 衆知を結集し、仕事を通して人が育つ会社です
- ⑤ 基本を大切にし、法令を遵守し、公私の区別を厳しく守る会社です

以上の5つを基本方針としております。

## (2) 目標とする経営指標

①売上高経常利益率

②総資産利益率（ROA）

当社グループは、収益性を重視しており、事業活動の結果を表す売上高経常利益率を損益上の経営指標として重視しております。一般的な小売業（自社商品製造を行っていない小売業）における経常利益率は売上高の多寡にかかわらず3%前後であり、当社グループとしては、エンタテインメント商品の複合化並びにリユース商品の買取・販売強化による粗利益率の改善、更に大型店舗による集客力と生産性の向上により、売上高経常利益率5%の確保を目指しております。

また、総資産利益率は、投資効率を判断する指標であり、利益獲得のためにどれだけ効率的な経営をしているかを表すものであります。今後とも総資産利益率(ROA)の向上を図ってまいります。

## (3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループが行うエンタテインメント・サービス業におきましては、単なる事業の寄せ集めでなく、お客様の多様化したニーズに的確にお応えするために推進しております。今後も商品・サービスを既存のフォーマットにとらわれず、イノベーションを持続的に繰り返すことで、オリジナリティあふれる事業展開「WonderG00」「WonderREX」事業等を目指してまいります。

当社グループの出店戦略は、店舗のサードプレイス化を通じて、出店した店舗がお客様にとって「くつろげる場所」となり、「リアル店舗でしか体験できないコト」をお客様にご提案することです。この出店戦略に基づき、一步一步確実に成長してまいります。

また、今後も専門的なノウハウを持った企業と資本・業務提携を推進して、異なるノウハウを有効に取り入れられる利点を生かしてまいります。

## (4) 会社の対処すべき課題

当エンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化し、厳しい経営環境で推移するものと予想されます。

今後こうした経営環境に対処するため、当社グループでは、店舗のサードプレイス化を通じて「リアルな体験でしか供給できないコト」にフォーカスすることが、より重要になると予想されます。一般消費者には三つの「場所」が必要とされ、第一の場所（ファーストプレイス）が「家」、第二の場所（セカンドプレイス）が「職場」、そして、その二つの中間地点にある第三の場所が「サードプレイス」であります。様々なサービスを展開しながら、同時に「くつろげる場所」の提供が必要になると考えられます。インターネットが発達した現在は、より居心地の良い場所を作ることで、インターネットではできない、よりリアルな要素を追求してまいります。

このサードプレイス化にあたって、サービス業の原点はやはり「人」であり、お客様とスタッフのコミュニケーションがお店のファンづくり、ひいては店舗価値の創造に繋がるものです。自立性を持った組織を形作るためには熱意を持った「人」の育成が急務であると考えております。スタッフには様々なことにチャレンジできる環境を準備して、成果を出せる人材を育成していきたいと考えております。

## 3. 連結財務諸表

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,182,217	2,072,601
売掛金	1,451,873	1,633,550
商品	13,925,169	16,133,836
貯蔵品	34,218	15,595
未収入金	1,788,796	1,125,398
繰延税金資産	836,005	679,536
その他	740,528	931,922
貸倒引当金	△6,399	△8,562
流動資産合計	20,952,409	22,583,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,956,303	14,034,177
減価償却累計額	△9,031,798	△9,130,882
建物及び構築物(純額)	4,924,504	4,903,294
機械装置及び運搬具	19,950	31,832
減価償却累計額	△16,024	△25,473
機械装置及び運搬具(純額)	3,926	6,358
工具、器具及び備品	5,510,159	5,521,843
減価償却累計額	△4,695,331	△4,773,580
工具、器具及び備品(純額)	814,827	748,262
土地	1,299,515	1,207,858
リース資産	1,120,673	1,862,234
減価償却累計額	△441,820	△704,282
リース資産(純額)	678,852	1,157,952
建設仮勘定	188,640	324,102
有形固定資産合計	7,910,267	8,347,830
無形固定資産		
のれん	599,732	716,493
その他	430,910	403,810
無形固定資産合計	1,030,642	1,120,303
投資その他の資産		
投資有価証券	268,889	62,363
敷金及び保証金	6,339,327	6,562,494
長期前払費用	641,041	661,844
繰延税金資産	721,530	689,307
その他	694,587	281,678
貸倒引当金	△249,708	△86,840
投資その他の資産合計	8,415,668	8,170,848
固定資産合計	17,356,578	17,638,982
資産合計	38,308,988	40,222,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,870,082	6,268,084
短期借入金	4,150,000	6,581,667
1年内返済予定の長期借入金	1,930,835	1,955,847
リース債務	166,985	221,227
未払金	140,750	48,808
未払費用	1,234,543	1,421,014
未払法人税等	454,563	238,356
未払消費税等	142,173	147,540
賞与引当金	169,102	197,765
ポイント引当金	1,400,567	976,257
その他	426,273	337,388
流動負債合計	17,085,878	18,393,958
固定負債		
長期借入金	5,514,114	4,225,340
リース債務	579,724	1,024,047
退職給付引当金	575,688	595,677
長期預り保証金	327,080	334,403
資産除去債務	848,257	814,810
繰延税金負債	361,548	281,604
その他	523,314	400,949
固定負債合計	8,729,728	7,676,832
負債合計	25,815,607	26,070,791
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,379,688	2,379,688
利益剰余金	6,188,762	7,185,625
自己株式	△15,230	△15,592
株主資本合計	10,912,121	11,908,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	741
その他の包括利益累計額合計	36	741
新株予約権	40,957	—
少数株主持分	1,540,266	2,242,706
純資産合計	12,493,381	14,152,070
負債純資産合計	38,308,988	40,222,861

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	69,732,035	87,981,191
売上原価	50,128,432	59,782,818
売上総利益	19,603,602	28,198,373
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	881,132	1,085,927
物流費	421,384	537,054
従業員給料及び賞与	7,274,080	10,400,340
賞与引当金繰入額	169,102	192,732
退職給付費用	116,142	201,537
福利厚生費	845,671	1,272,874
水道光熱費	1,006,421	1,207,306
減価償却費	1,076,082	1,331,021
地代家賃	3,286,526	6,001,460
リース料	335,826	298,380
支払手数料	1,438,418	2,131,481
その他	2,059,087	2,653,326
販売費及び一般管理費合計	18,909,877	27,313,443
営業利益	693,725	884,929
営業外収益		
受取利息	45,487	45,867
受取配当金	183	678
受取手数料	141,651	215,207
その他	98,493	145,405
営業外収益合計	285,814	407,158
営業外費用		
支払利息	121,565	153,896
その他	12,148	66,550
営業外費用合計	133,714	220,446
経常利益	845,826	1,071,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	7,700	1,263,075
負ののれん発生益	825,901	45,791
新株予約権戻入益	279	40,957
その他	—	27,360
特別利益合計	833,881	1,377,184
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	20,087	71,322
減損損失	604,623	134,274
関係会社株式評価損	15,000	—
貸倒引当金繰入額	104,522	—
債権放棄損	—	33,000
リース解約損	—	35,807
その他	—	35,532
特別損失合計	744,233	309,937
税金等調整前当期純利益	935,474	2,138,889
法人税、住民税及び事業税	396,523	336,102
法人税等調整額	△195,425	104,424
法人税等合計	201,098	440,527
少数株主損益調整前当期純利益	734,375	1,698,361
少数株主利益	38,752	567,409
当期純利益	695,623	1,130,952

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
少数株主損益調整前当期純利益	734,375	1,698,361
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△295	1,325
その他の包括利益合計	△295	1,325
包括利益	734,080	1,699,687
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	695,304	1,131,657
少数株主に係る包括利益	38,775	568,030

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,358,900	2,360,793	5,625,339	△212,931	10,132,103
当期変動額					
剰余金の配当			△127,872		△127,872
当期純利益			695,623		695,623
自己株式の処分		18,895		212,931	231,826
新規連結子会社が 所有する親会社株式				△15,230	△15,230
その他			△4,328		△4,328
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	18,895	563,422	197,700	780,017
当期末残高	2,358,900	2,379,688	6,188,762	△15,230	10,912,121

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	355	355	41,236	—	10,173,694
当期変動額					
剰余金の配当					△127,872
当期純利益					695,623
自己株式の処分					231,826
新規連結子会社が 所有する親会社株式					△15,230
その他					△4,328
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△318	△318	△279	1,540,266	1,539,668
当期変動額合計	△318	△318	△279	1,540,266	2,319,686
当期末残高	36	36	40,957	1,540,266	12,493,381



当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,358,900	2,379,688	6,188,762	△15,230	10,912,121
当期変動額					
剰余金の配当			△134,090		△134,090
当期純利益			1,130,952		1,130,952
連結子会社に対する 持分変動に伴う 自己株式の増減				△361	△361
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	996,862	△361	996,501
当期末残高	2,358,900	2,379,688	7,185,625	△15,592	11,908,622

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	36	36	40,957	1,540,266	12,493,381
当期変動額					
剰余金の配当					△134,090
当期純利益					1,130,952
連結子会社に対する 持分変動に伴う 自己株式の増減					△361
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	704	704	△40,957	702,439	662,187
当期変動額合計	704	704	△40,957	702,439	1,658,688
当期末残高	741	741	—	2,242,706	14,152,070

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	935,474	2,138,889
減価償却費	1,203,900	1,323,636
減損損失	604,623	134,274
のれん償却額	71,967	142,420
負ののれん発生益	△825,901	△45,791
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,967	12,734
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,581	9,769
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	51,792	△424,309
受取利息及び受取配当金	△45,670	△46,545
支払利息	121,565	153,896
関係会社株式評価損	15,000	-
固定資産売却損益 (△は益)	△7,700	△1,263,075
固定資産除却損	20,087	71,322
リース解約損	-	35,807
売上債権の増減額 (△は増加)	90,620	△167,503
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△851,175	△1,655,598
仕入債務の増減額 (△は減少)	△310,357	△764,597
その他	△68,673	810,963
小計	1,005,168	466,293
利息及び配当金の受取額	2,366	3,419
利息の支払額	△120,001	△152,072
災害による損失支払額	△4,841	-
法人税等の支払額	△122,678	△569,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	760,013	△251,922
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△6,000
定期預金の払戻による収入	-	1,050
有形固定資産の取得による支出	△727,071	△2,090,600
有形固定資産の売却による収入	9,277	2,439,671
無形固定資産の取得による支出	△40,267	△47,483
資産除去債務の履行による支出	-	△58,998
投資有価証券の取得による支出	-	△1,336
投資有価証券の売却による収入	1,374	71,786
子会社株式の取得による支出	-	△15,000
貸付金の回収による収入	1,565	2,478
貸付けによる支出	△39,680	-
敷金及び保証金の差入による支出	△136,637	△263,054
敷金及び保証金の回収による収入	476,412	581,566
営業譲受による支出	-	△480,798
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△449,387	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	24,631	228,993
その他	△18,355	△47,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△898,138	314,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	451,000	2,361,667
長期借入れによる収入	3,602,160	1,961,546
長期借入金の返済による支出	△2,658,424	△4,108,138
子会社の自己株式の取得による支出	—	△48
少数株主からの払込みによる収入	—	10,000
リース債務の返済による支出	△142,042	△274,640
配当金の支払額	△129,456	△133,894
自己株式の売却による収入	231,826	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,355,062	△183,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,216,937	△120,566
現金及び現金同等物の期首残高	964,230	2,181,167
現金及び現金同等物の期末残高	2,181,167	2,060,600

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ30,823千円増加しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、G00営業本部及びREX営業本部を置き、商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは営業本部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「WonderG00事業」、「WonderREX事業」、「TSUTAYA事業」及び「新星堂事業」の4つを報告セグメントとしております。

「WonderG00事業」は、ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍、化粧品、携帯電話等の小売販売及びレンタル、また、それら商品の一部をF Cへ卸売をしております。「WonderREX事業」は、ブランド品、貴金属、衣料、服飾雑貨、オーディオ・家電等のリユース商品の買取・販売をしております。「TSUTAYA事業」はゲームソフト・映像ソフト・音楽ソフト・雑誌の販売及び映像ソフト・音楽ソフトのレンタルを行っております。「新星堂事業」は、音楽ソフト、映像ソフト等の小売販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	連結損益計 算書計上額 (注) 4
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂 (注) 1	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	57,132,670	5,465,173	6,869,137	—	69,466,981	265,054	69,732,035	—	69,732,035
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	80,703	—	27,389	—	108,092	26,528	134,621	△134,621	—
計	57,213,374	5,465,173	6,896,526	—	69,575,074	291,582	69,866,656	△134,621	69,732,035
セグメント利 益	414,711	169,525	69,737	—	653,974	39,751	693,725	—	693,725
セグメント資 産	21,466,224	2,054,636	3,191,711	8,077,880	34,790,452	1,102,224	35,892,677	2,416,311	38,308,988
その他の項目									
減価償却費	749,348	166,442	131,612	—	1,047,403	28,678	1,076,082	—	1,076,082
のれんの償却 額	—	—	71,967	—	71,967	—	71,967	—	71,967
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	308,802	375,105	169,602	—	853,510	—	853,510	197,733	1,051,243

(注) 1. 新星堂事業については、当社は当連結会計年度に㈱新星堂を子会社化しておりますが、同社株式のみなし取得日を当連結会計年度末としているため、当連結会計年度においては貸借対照表のみを連結対象としております。したがって、新星堂事業の売上高、セグメント利益及びその他の項目は記載しておりません。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産2,416,311千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。

(2) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産197,733千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないリース資産等であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	52,168,730	5,702,449	12,703,446	17,139,344	87,713,971	267,220	87,981,191	—	87,981,191
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	524,166	—	54,211	28,174	606,552	83,832	690,385	△690,385	—
計	52,692,896	5,702,449	12,757,658	17,167,519	88,320,523	351,053	88,671,577	△690,385	87,981,191
セグメント利益又は セグメント損失(△)	630,841	267,548	△36,263	△22,670	839,455	33,887	873,343	11,586	884,929
セグメント資 産	23,906,782	2,095,762	5,315,873	7,485,094	38,803,512	1,030,124	39,833,636	389,225	40,222,861
その他の項目									
減価償却費	777,607	181,263	238,213	106,564	1,303,648	27,372	1,331,021	—	1,331,021
のれんの償却 額	—	—	142,420	—	142,420	—	142,420	—	142,420
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,171,298	226,506	259,990	270,026	3,927,821	917	3,928,739	529,466	4,458,206

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額530千円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産389,225千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産529,466千円あります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないリース資産等であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	計			
減損損失	586,048	13,950	4,624	604,623	—	—	604,623

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
減損損失	40,220	—	19,244	74,808	134,274	—	—	134,274

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	計			
当期償却額	—	—	71,967	71,967	—	—	71,967
当期末残高	—	—	599,732	599,732	—	—	599,732

当連結会計年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
当期償却額	—	—	142,420	—	142,420	—	—	142,420
当期末残高	—	—	716,493	—	716,493	—	—	716,493

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自平成24年3月1日 至平成25年2月28日)

当社は、当連結会計年度に株式会社新星堂の株式を取得し、連結子会社化したことにより負ののれん発生益825,901千円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

当連結会計年度(自平成25年3月1日 至平成26年2月28日)

当社は、当連結会計年度に株式会社ケイ・コーポレーションの株式を取得し、連結子会社化したことにより負ののれん発生益45,791千円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
1株当たり純資産額	2,028円58銭	2,214円21銭
1株当たり当期純利益	131円30銭	210円26銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益金を算定しております

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当連結会計年度 (平成26年2月28日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	12,493,381	14,152,070
普通株式に係る純資産額(千円)	10,912,157	11,909,363
差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	40,957	—
少数株主持分	1,540,266	2,242,706
普通株式の発行済株式数(株)	5,403,600	5,403,600
普通株式の自己株式数(株)	24,400	25,000
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の株(株)	5,379,200	5,378,600

4. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	695,623	1,130,952
普通株式に係る当期純利益(千円)	695,623	1,130,952
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	5,297,877	5,378,785
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成20年新株予約権方式によるストック・オプション(新株予約権の数1,468個) 普通株式1,468株	—



## (重要な後発事象)

## 1. 連結子会社間の合併

当社は、平成26年2月20日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社サンレジャーと株式会社ケイ・コーポレーションの合併について決議し、同年3月26日に合併契約書を締結いたしました。

## (1) 合併の目的

株式会社サンレジャー及び株式会社ケイ・コーポレーションは、いずれも当社グループのTSUTAYA事業を主要業務としております。今後、激しく変化する市場に対応し、当社グループにおけるTSUTAYA事業の成長戦略を推進するため、両社の合併により、グループ内のシナジー効果を高め、経営資源の集約と経営効率を図ることを目的としております。

## (2) 合併の日程

合併の効力発生日 平成26年6月1日(予定)

## (3) 合併方式

株式会社サンレジャーを存続会社とする吸収合併方式で、株式会社ケイ・コーポレーションは解散いたします。

## (4) 合併比率及び合併交付金

株式会社ケイ・コーポレーションの株式1株に対し、株式会社サンレジャーの株式10株を割当交付いたします。なお、合併交付金の支払いはありません。

## (5) 合併により発行する新株式数

普通株式 6,000株

## (6) 合併当事会社の概要

(平成26年2月28日現在)

	存続会社	消滅会社
商号	株式会社サンレジャー	株式会社ケイ・コーポレーション
事業内容	音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル	音楽・映像ソフト、書籍、ゲームの販売及び音楽・映像ソフト、コミック等のレンタル
本店所在地	東京都千代田区神田相生町1番地	群馬県前橋市横手町222番地2号
資本金	100,000千円	30,000千円
純資産	113,523千円	376,869千円
総資産	2,860,981千円	1,828,054千円
大株主	株式会社ワンダーコーポレーション	株式会社ワンダーコーポレーション

## (7) 今後の日程

合併承認株主総会 平成26年4月23日

合併効力発生日 平成26年6月1日

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当事業年度 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,087,702	1,045,409
売掛金	773,580	885,399
商品	10,116,253	9,974,872
貯蔵品	18,447	14,739
前渡金	2,957	9,222
前払費用	248,691	248,003
繰延税金資産	773,856	614,479
短期貸付金	254,980	279,980
未収入金	1,298,398	887,243
立替金	116,345	1,638,329
1年内回収予定の差入保証金	221,604	320,268
その他	648	3,315
貸倒引当金	△2,813	△5,374
流動資産合計	14,910,653	15,915,889
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,338,480	8,695,147
減価償却累計額	△4,797,546	△5,188,189
建物(純額)	3,540,934	3,506,957
構築物	1,525,837	1,515,325
減価償却累計額	△1,113,360	△1,171,593
構築物(純額)	412,477	343,731
車両運搬具	19,950	18,680
減価償却累計額	△16,024	△17,546
車両運搬具(純額)	3,926	1,134
工具、器具及び備品	2,536,289	2,648,174
減価償却累計額	△1,922,089	△2,094,008
工具、器具及び備品(純額)	614,199	554,165
土地	286,288	1,206,288
リース資産	902,834	1,350,541
減価償却累計額	△325,354	△459,508
リース資産(純額)	577,479	891,032
建設仮勘定	188,640	324,102
有形固定資産合計	5,623,946	6,827,413
無形固定資産		
借地権	189,841	189,841
商標権	312	162
ソフトウェア	92,793	98,848
電話加入権	34,991	34,991
その他	3,093	2,463
無形固定資産合計	321,033	326,307

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当事業年度 (平成26年2月28日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	3,000	200
関係会社株式	1,435,444	1,692,744
長期貸付金	36,135	34,155
関係会社長期貸付金	1,024,159	746,159
長期前払費用	614,259	565,053
敷金及び保証金	4,428,941	4,122,995
営業保証金	27,548	21,515
繰延税金資産	685,279	654,018
破産更生債権等	203,771	121,875
その他	15	15
貸倒引当金	△161,276	△82,056
投資その他の資産合計	8,297,277	7,876,676
固定資産合計	14,242,257	15,030,397
資産合計	29,152,911	30,946,287
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	4,918,156	4,057,291
短期借入金	4,220,000	6,585,000
1年内返済予定の長期借入金	1,757,714	1,464,557
リース債務	125,952	164,092
未払金	95,434	1,097,450
未払費用	719,782	697,088
未払法人税等	299,739	90,667
未払消費税等	60,894	102,021
前受金	20,315	20,220
預り金	258,066	320,112
賞与引当金	125,444	143,476
ポイント引当金	1,399,079	972,436
流動負債合計	14,000,579	15,714,414
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,434,596	2,863,389
リース債務	509,271	787,748
退職給付引当金	195,862	204,230
長期預り保証金	278,480	270,270
長期未払金	22,605	23,600
資産除去債務	494,425	504,106
長期リース資産減損勘定	379,054	340,960
固定負債合計	5,314,295	4,994,305
負債合計	19,314,874	20,708,719

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当事業年度 (平成26年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金		
資本準備金	2,360,793	2,360,793
その他資本剰余金	18,895	18,895
資本剰余金合計	2,379,688	2,379,688
利益剰余金		
利益準備金	3,330	3,330
その他利益剰余金		
別途積立金	2,600,000	2,600,000
繰越利益剰余金	2,455,159	2,895,648
利益剰余金合計	5,058,489	5,498,978
株主資本合計	9,797,079	10,237,567
新株予約権	40,957	—
純資産合計	9,838,036	10,237,567
負債純資産合計	29,152,911	30,946,287

## (2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
<b>売上高</b>		
直営売上高	53,760,656	51,738,905
フランチャイズ等売上高	6,050,614	4,454,050
売上高合計	59,811,270	56,192,956
<b>売上原価</b>		
直営売上原価		
商品期首たな卸高	9,418,824	10,116,253
当期商品仕入高	39,655,647	35,704,849
合計	49,074,472	45,821,102
他勘定振替高	305,258	334,635
商品期末たな卸高	10,116,253	9,974,872
直営売上原価合計	38,652,960	35,511,594
フランチャイズ等売上原価	5,914,922	4,342,702
売上原価合計	44,567,883	39,854,297
売上総利益	15,243,387	16,338,658
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	477,536	544,262
物流費	364,054	359,285
役員報酬	134,616	110,981
従業員給料及び賞与	5,410,466	5,950,734
賞与引当金繰入額	125,444	143,476
退職給付費用	107,273	109,572
福利厚生費	659,409	777,116
水道光熱費	836,891	897,825
減価償却費	930,167	974,200
リース料	326,220	214,657
地代家賃	2,746,823	2,784,807
支払手数料	986,914	1,104,723
その他	1,581,312	1,465,994
販売費及び一般管理費合計	14,687,130	15,437,638
営業利益	556,256	901,020

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	当事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)
<b>営業外収益</b>		
受取利息	49,387	55,143
受取配当金	10,060	10,000
受取手数料	121,024	140,724
その他	80,538	123,488
営業外収益合計	261,011	329,356
<b>営業外費用</b>		
支払利息	102,969	126,264
控除対象外消費税	8,246	16,332
その他	3,741	20,585
営業外費用合計	114,956	163,182
経常利益	702,310	1,067,194
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	7,700	869
新株予約権戻入益	279	40,957
特別利益合計	7,979	41,826
<b>特別損失</b>		
リース解約損	—	35,807
固定資産売却損	—	489
固定資産除却損	19,445	29,367
減損損失	599,998	40,220
貸倒引当金繰入額	90,116	—
特別損失合計	709,560	105,885
税引前当期純利益	730	1,003,135
法人税、住民税及び事業税	351,507	236,920
法人税等調整額	△203,806	190,637
法人税等合計	147,700	427,557
当期純利益又は当期純損失(△)	△146,970	575,578

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,358,900	2,360,793		2,360,793
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純損失(△)				
自己株式の処分			18,895	18,895
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	18,895	18,895
当期末残高	2,358,900	2,360,793	18,895	2,379,688

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
		別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	3,330	2,600,000	2,730,002	5,333,332	△212,931	9,840,095	
当期変動額							
剰余金の配当			△127,872	△127,872		△127,872	
当期純損失(△)			△146,970	△146,970		△146,970	
自己株式の処分					212,931	231,826	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	△274,842	△274,842	212,931	△43,016	
当期末残高	3,330	2,600,000	2,455,159	5,058,489	—	9,797,079	

(単位：千円)

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	355	355	41,236	9,881,687
当期変動額				
剰余金の配当				△127,872
当期純損失(△)				△146,970
自己株式の処分				231,826
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△355	△355	△279	△634
当期変動額合計	△355	△355	△279	△43,650
当期末残高	—	—	40,957	9,838,036

当事業年度(自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,358,900	2,360,793	18,895	2,379,688	3,330	2,600,000	2,455,159	5,058,489
当期変動額								
剰余金の配当							△135,090	△135,090
当期純利益							575,578	575,578
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	440,488	440,488
当期末残高	2,358,900	2,360,793	18,895	2,379,688	3,330	2,600,000	2,895,648	5,498,978

	株主資本	新株予約権	純資産合計
	株主資本合計		
当期首残高	9,797,079	40,957	9,838,036
当期変動額			
剰余金の配当	△135,090		△135,090
当期純利益	575,578		575,578
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)		△40,957	△40,957
当期変動額合計	440,488	△40,957	399,531
当期末残高	10,237,567	—	10,237,567